

ニュースリリース

## グロービス経営大学院、生成AIを活用した対話型復習ツールを国内ビジネススクール初の本格導入！ MBAクラスの教員と学生の対話を分析・反映、より効果的な学習へ

グロービス経営大学院(東京都千代田区、学長:堀義人)は、生成AIを活用した対話型学習システム「GAiChaL-2.0(β版)(GLOBIS AI Chat Learning、略称 ガイチャル)」を開発、MBAプログラムの科目での復習ツールを導入を開始しました。2024年7月期開講科目の「アカウントティング基礎(3カ月・7月期中に17クラス開講)」の復習ツールへの提供から始め、今後さらに活用範囲を広げていく予定です。MBAプログラムの科目に生成AIを活用した復習の仕組みを全学的に導入するのは、国内のビジネススクールとして初の試みとなります。

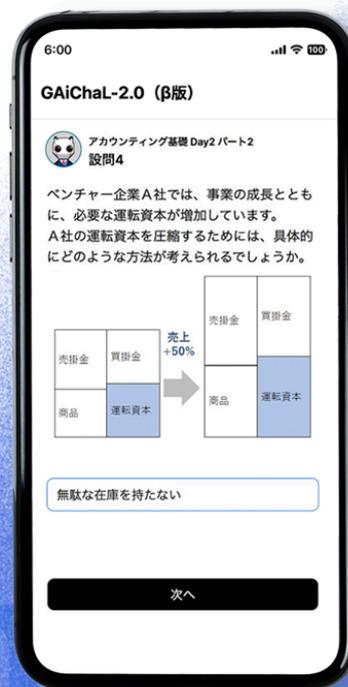
### グロービス経営大学院

Graduate School of Management, GLOBIS University

生成AIを活用した復習ツールを

「アカウントティング基礎」

からスタート!



グロービス経営大学院に通う社会人学生は、「GAiChaL-2.0」を用いた復習ツールを使うことで、実践演習を通じたスマートフォンでの学習がいつでもどこでも可能になります。「GAiChaL-2.0」は昨年3月にリリースした「GAiChaL-1.0<sup>\*1</sup>」の進化版で、グロービス経営大学院が長年培ってきた教員と学生の対話メソッドをシナリオとして組み込んだことが最大の特徴です。

\*1 参考ニュースリリース(2023年3月公開): <https://globis.co.jp/news/mba/8452-2023-03-03/>

今回の「GAiChaL-2.0」のリリースに伴い、「GAiChaL」は「GAiChaL-1.0」に名称を変更

#### ■「GAiChaL-2.0」を使った復習ツールについて

グロービス経営大学院の科目は、基本的に全6回で構成されています。「GAiChaL-2.0」を用いた復習用ツールでは、各回につき必ず理解しておきたい基礎的な部分を扱った演習を用意しています。選択式問題だけでなく記述式問題も出題され、回答に応じたフィードバックが表示されるほか、回答が適切でなかった場合には、学生は、ヒントを参考に再度回答を行うこともできます。このような生成AIとの対話を通じて深い理解を促すことが可能です。

## ■「GAiChaL-2.0」について

「GAiChaL-2.0」の特徴は、グロービス経営大学院が長年培ってきた教員と学生との対話メソッドを、生成AIと学生との対話の根幹となるシナリオに組み込んでいることです。これは、MBAクラスにおける教員と学生の対話の分析を基に開発し、学生の理解を促すシナリオです。

一般的に生成AIを活用したツールをつくる場合、プロンプトと呼ばれる指示文を通して生成AIに回答を作成させます。さらに対話をコントロールする場合には、対話の根幹となるシナリオを用意します。2023年4月にリリースされた「GAiChaL-1.0」ではシナリオ管理を生成AIに任せてたため、必ずしも生成AIがプロンプトに従うとは限らず、十分に深い対話ができないという課題がありました。

一方、進化版「GAiChaL-2.0」では、教員と学生の対話のエッセンスを組み込んだシナリオを、新たに実装したシステムに用意。そのシナリオ上の分岐判断や、シナリオに沿ったフィードバック生成に、生成AIを活用しています。生成AIが得意な領域を担うことで、「GAiChaL-1.0」での課題の解決を図っています。この進化により複雑で長い対話が可能となり、授業で教員と対話しているかのような没入感が得られようになりました。

## 《「GAiChaL-2.0」対話例》

### GAiChaL-2.0 (β版)



#### Day2 パート2

アカウンティング基礎



この演習では、アカウンティング基礎 Day2に学んだ内容のうち、運転資本に焦点をあてて復習していきます。

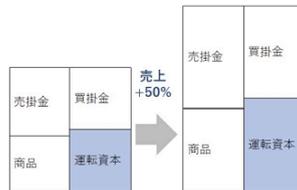
スタート

### GAiChaL-2.0 (β版)



アカウンティング基礎 Day2 パート2  
設問4

ベンチャー企業A社では、事業の成長とともに、必要な運転資本が増加しています。A社の運転資本を圧縮するためには、具体的にどのような方法が考えられるでしょうか。



無駄な在庫を持たない

次へ

### GAiChaL-2.0 (β版)



アカウンティング基礎 Day2 パート2  
設問4

そうですね、無駄な商品（在庫）を減らすことが考えられます。他には、売掛金の金額を減らす方法も考えられます。売上が2倍、3倍と増えると、通常、必要な運転資本も2倍、3倍と増えていきます。PL上の売上や利益だけでなく、キャッシュの出入りに目を向けて必要な資金繰り改善策を行っていくことが大切です。

次へ

【回答が適切な場合】回答内容を承認したうえで、ひと言解説を添えて応答

## GAiChaL-2.0 (β版)



アカウントing基礎 Day1 パート1  
設問1

まずはボックス図の考え方を確認しましょう  
(単純化のため単位は省略)。

現金	100	資本金	50
建物および備品	100	借入金	150
200		200	

「商品50を現金で仕入れた」

上記のボックス図に新たに加わる変化の組み合わせとして正しいものは次のどれでしょうか？

- (左) 商品 +50 / (右) 資本金 +50
- (左) 商品 +50 / (左) 現金 ▲50
- (左) 商品 +50 / (右) 借入金 +50

次へ

## GAiChaL-2.0 (β版)



アカウントing基礎 Day1 パート1  
設問1

ポイントは「現金で購入したという部分」です。  
この点に留意して、もう一度考えてみましょう。

現金	100	資本金	50
建物および備品	100	借入金	150
200		200	

「商品50を現金で仕入れた」

上記のボックス図に新たに加わる変化の組み合わせとして正しいものは次のどれでしょうか？

- (左) 商品 +50 / (右) 現金 ▲50
- (左) 商品 +50 / (右) 借入金 +50
- (左) 商品 +50 / (右) 資本金 +50

次へ

## GAiChaL-2.0 (β版)



アカウントing基礎 Day1 パート1  
設問1

その通りですね。商品を購入したため「商品」が50増え、それを現金で支払ったため「現金」が50減って50となります。

現金	50	資本金	50
建物および備品	100	借入金	150
商品	50		
200		200	

次へ

【回答を誤った場合】正解の解説をすぐに行わず、ヒントを示して再度問うことも可能

### ■「アカウントing基礎」での復習ツール提供の狙い

ビジネスの複雑化・多様化により、経営におけるアカウントing知識の重要性は一層高まっています。一方で「アカウントingに日頃あまり接点がない」など、授業で学んだ知識の定着に苦勞する学生も多く、カネ系科目は、学生・教員ともに復習ニーズが高い科目です。そこで「GAiChaL-2.0」を用いた復習ツールの導入を「アカウントing基礎<sup>\*2</sup>」から開始し、生成AIを使った対話型演習による知識習得サポートを試みました。従来のテキストベースの復習ツールに加えて、スマートフォンを使って生成AIと対話しながら学習する新たなスタイルが、学生の学習へのハードルを下げ、理解の底上げにつながることを期待しています。

\*2 アカウントing基礎：<https://mba.globis.ac.jp/curriculum/detail/ea/>

### ■グロービス経営大学院におけるAI活用

今回リリースした「GAiChaL-2.0」は、グロービス経営大学院が運営するグロービスAI経営教育研究所(GAiMERi)が開発しました。グロービス経営大学院では、GAiMERiの研究を活かし、AIやテクノロジーを使った創造と変革、すなわちテクノバート<sup>\*3</sup>を担う次世代ビジネスリーダーの育成を推進しています。

「テクノバート」を標榜する経営大学院として、2019年から入試の書類選考にAIを試験導入するなど、先進的な取り組みを行ってきました。2021年、AIによる自然言語テキスト解析エンジン「GAiDES(GLOBIS AI Document Evaluation System)」を搭載したレポート採点支援システムに関して、グロービス初となる特許を取得。次いで2022年に新たに特許を取得したAIラーニングシステム「GAiL(Globis AI Learning)」は、AIを使った記述式学習システムで、AIによるフィードバックをもとに学習を進めることを可能とし、動画とAIで学ぶMBA単位「ナノ単科」<sup>\*4</sup>の学習サイクルにおけるAIによる実践演習に活用されています。さらに2023年3月には、ChatGPTを活用した対話型の学習システム「GAiChaL-1.0(GLOBIS AI Chat Learning)」を開発し、世界に先駆けて「ナノ単科」に実装しました。

\*3 テクノロジーとイノベーションを組み合わせた造語

\*4 ナノ単科:<https://info.nano.globis.ac.jp/>

今後もAIを活用した新たな経営教育のあり方を模索し、学生らの学びを進化させていくことを目指しています。社会の変化が加速しビジネスのあり方自体が変わっていく現状を踏まえ、グロービス経営大学院は、これからの時代に必須の経営知とビジネススキルを学ぶ機会を拡充していきます。

## ◆グロービスAI経営教育研究所(略称 GAImeri)の概要

2017年2月開設。国内最大のビジネススクールであるグロービス経営大学院、企業の人材育成や組織変革など教育現場から得られる知見と、AIをはじめとするデジタルテクノロジーや認知科学の発展がもたらすイノベーションを統合し、次世代の経営教育モデルの研究開発を推進する研究所。

URL:<https://mba.globis.ac.jp/feature/technovate/gaimeri/>

## ◆グロービス経営大学院

(日本語プログラム: <https://mba.globis.ac.jp> 英語プログラム: <https://www.globis.ac.jp>)

グロービス経営大学院は、2006年の開学以来「能力開発」「人的ネットワークの構築」「志の醸成」を教育理念に掲げ、ビジネスの創造や社会の変革に挑戦する高い志を持ったリーダー輩出のために尽力しています。日本語MBAプログラムは、東京・大阪・名古屋・福岡・オンラインの5キャンパスに加え、仙台・水戸・横浜に特設キャンパスを開設。2006年開学当初78名だった入学者数は、2024年4月には日本語MBAプログラムで977名に達しました。在校生・卒業生は合計1万2,000人を超え、日本最大のビジネススクール\*に成長を遂げています。英語MBAプログラムは、パートタイム&オンラインMBAプログラム、フルタイムMBAプログラムを展開し、世界各国から多様な学生が集まっています。グロービス経営大学院は、今後も創造と変革を担うビジネスリーダーを育成し、テクノバート時代の世界No.1MBAを目指していきます。

\*参考:文部科学省「令和5年度専門職大学院一覧」

## ◆グロービス (<https://www.globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業展開を進めてきました。「ヒト」の面では、学校法人としての「グロービス経営大学院」ならびに、株式会社立のスクール「グロービス・エグゼクティブ・スクール」「グロービス・マネジメント・スクール」、企業内研修事業を行うグロービス・コーポレート・エデュケーションとeラーニングやオンラインクラスのほか定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォーム、「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」により、これを推進しています。さらに社会に対する創造と変革を促進するため、一般社団法人G1によるカンファレンス運営、一般財団法人KIBOW による震災復興支援および社会的インパクト投資を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、福岡、オンライン)／英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

・グロービス・エグゼクティブ・スクール

・グロービス・マネジメント・スクール

・企業内研修

・出版／電子出版

・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」

・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co., Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

その他の活動:

・一般社団法人G1

・一般財団法人KIBOW

・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント

・株式会社LuckyFM茨城放送

## 【取材に関するお問い合わせ先】

グロービス 広報室 担当:土橋涼

E-MAIL: [pr-info@globis.com](mailto:pr-info@globis.com)